

沢田穰治 contrabass
城戸夕果 flute
鬼武みゆき piano

2024 05月26日 (日)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無) (1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



鬼武みゆき

コンポーザー、アレンジャー、ピアニスト。東京理科大学理学部数学科卒業。これまでに、最新アルバム「Letters ~美しき永遠への誓い~」を含む8枚のオリジナルアルバムを発表。小栗康平監督映画「埋もれ木」の挿入歌、東京理科大学の第二校歌「未来への約束」、北海道東川町の『高校生国際交流写真フェスティバル』テーマミュージック「HIGASHIKAWA」などの作曲活動他、加藤登紀子、宮沢和史等、数多くのレコーディング、コンサートにアレンジャー、ピアニストとして参加。2012年からスタートした「1 minute piece "Happiness is ... "」は岸恵子や柳生博など各界著名人の言葉と、音楽、写真でコラボレーションしたショートムービーシリーズで、全36作品をYoutubeで発表。2016年からは3年に渡り福島の各地を訪れ、美しい自然、伝統的な祭りや文化などをテーマに地元の声に耳を傾けながら作曲、NHK福島局TV番組「はまなかあいづ Today ~福島を奏でる~」にて全9曲を発表し、2019年にはその地域貢献を同局から表彰される。現代を生きる私達に元気と安らぎを与えてくれるアーティスト。

城戸夕果

洗足学園大学在学中にジャズ・フュージョン系の音楽家として活動開始。89年、小野リサのバンドに入りブラジル音楽に目覚める。90年代は毎年リオに長期滞在し、複数のリーダー作を録音。ジョニー・アルフ、ジョアン・ドナート、カルロス・リラ、ジョイス・モレーノらと共演した。日本では自身のバンドでの活動のほか、宮沢和史、EPO、渡辺香津美らと共演。21世紀に入り、外交官夫人としてブリュッセル、ブラジリア、ボストンに在住。現地で音楽活動も行ない、2020年に帰国。ブラジル音楽を軸にジャズなどの素養、海外での多彩な経験も生かして活動中。

沢田穰治

ChoroClubのベーシストでありながら、様々な楽器を愉しむ。その活動は幅広く、ジャンルにとらわれない活動が続けながら様々なアーティストのプロデュースや映画、アニメ、ドラマなどの音楽制作なども多い。近年の作品にはアントニオ・カルロス・ジョビンの作品集「CantaJobim」、2011年の震災を受け止めて音楽として昇華した「NO NUKES JAZZ ORCHESTRA」、「武満徹ソングブック」等、最近ではジャズギタリスト馬場孝喜「Gray Zone」、日本初録音となるジョージ・クラム作曲「マクロコスモス II」や畠山美由紀「歌で逢いましょう」などをプロデュース。アレンジャーとして今までおおか静流、川本真琴、フィッシュマンズ、忌野清志郎、太田裕美、パッファロードーター、上間綾乃、松下奈緒などほか、多数手がける。活動においてはアルゼンチンやブラジルの音楽家からの信頼もあつく、レコーディングやセッションを重ねている。直近でのリリースでは高木正勝、渡辺亮、馬場孝喜など京都ゆかりの音楽家と共に制作した「Closeness Ensemble of Kyoto / WaBaSaTa」が song x jazz からリリース。